

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル
助成事業者	特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク
代表者	代表理事 杉尾 哲
<p>(目的)</p> <p>わが国では、今年度から3ヶ年で国土強靱化の取組みが計画されていて、河道の砂州掘削と樹木伐採が重点的に行われている。しかし、砂州のワンドと河畔林は、国家戦略の生物多様性の保全と自然が豊かな河川生態系の形成に重要であり、治水と環境保全が調和した良い川づくりが必要である。そのため、当団体と宮崎県河川課が協働する宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会では、緊急に、昨年春に行政と企業の技術者を対象として現場研修会を開催した。しかし、地域住民が砂州と河畔林の完全撤去を要望していることが課題である。自然が豊かで生物多様性に富み、潤いをもたらす良い川を次世代に受け渡すには、一般住民を対象とした良い川づくりの啓発が必要である。</p> <p>良質な社会資本の整備の推進に寄与することを目的として、宮崎市内の商業施設で親子を対象とした良い川づくりの啓発イベントを開催する。イベントの内容は、県内の良い川づくり事例紹介のパネル展示と、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに関する水の工作を行う。さらに、子どもを対象として川の素晴らしさ・大切さ・楽しさをテーマに絵を募集し、選定して卓上カレンダーを作成して、広く住民に配布する。</p>	
<p>(概要)</p> <p>一般住民に良い川づくりを啓発することを目的に、①宮崎市内の商業施設で親子を対象とした良い川づくりの啓発イベントを開催した。イベントの内容は、宮崎県内でこれまでに実施された良い川づくりの優良事例を紹介するパネル展示と、プロジェクトWETのプログラムの中から選定した川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに関心を持ってもらうミニ地球づくりを行った。さらに、②川の素晴らしさ・大切さ・楽しさをテーマの卓上カレンダーを作成して配布した。絵は子どもを対象に募集し、その中から当団体理事で選定して作成して、①のイベントで表彰するとともに、関係機関や当団体会員を介して広く一般住民に無償で配布して、良い川づくりへの関心の向上を図った。</p>	